

平成 31 年度（令和元年度）

能美市教育委員会の点検及び評価報告書
（平成 30 年度事業対象）

令和元年 9 月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、平成 30 年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢大学浅野秀重先生にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

令和元年 9 月

能美市教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

- 1 教職員の資質並びに授業力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 豊かな心, 確かな学力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 教育支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 4 教育環境の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

施策2 青少年の健全育成

- 1 青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

施策3 生涯学習の推進

- 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進 14
- 2 生涯学習活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3 公民館活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 4 社会教育施設の運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

施策4 芸術・文化の振興

- 1 文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 2 博物館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- 3 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

施策5 生涯スポーツの推進

- 1 競技スポーツの充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 2 生涯スポーツの普及・振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- 3 スポーツ施設の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- (2) 教育委員の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成をめざして、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、活用力を培う授業づくり、考え議論する道徳の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

1 教職員の資質並びに授業力の向上

平成30年度の主な取組

◇教職員研修事業（1,073千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のように施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、新しく「能美市学びのベーシック事業」を立ち上げ、市指定研究校に大学等から外部講師を継続して招聘し、学校研究を充実させます。本事業での成果を市内に発信し、共有します。外部講師からの継続した指導を受けることで教師一人ひとりの授業力の向上を目指します。

*研修講座ならびに学びのベーシック事業 講師招聘一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
	夏季教職員研修講座	衣笠 知子	園田学園女子大学	8月20日
浜小	学校研究 (算数)	石田 淳一	横浜国立大学	6月19日 10月8日
		藤森 慎一	金沢学院大学	7月27日
寺井小	学校研究 (算数)	細水 保宏	明星小学校	5月2日 11月26日 1月29日
辰口中央小	学校研究 (国語)	皆川美弥子	宇都宮大学教育学部附属 小学校	6月27日 8月2日 10月22日
宮竹小	学校研究 (外国語活動)	衣笠 知子	園田学園女子大学	6月11日

評価

- ・平成 30 年度は、市主催の研修会は、国の動向を踏まえて小学校外国語活動の教科化（令和 2 年度完全実施）を見据えた授業力向上を目的に実施しました。
外国語の教科化を来年度に控え、授業時数の確保とともに小学校教員は大きな不安を抱えています。より実践的で具体的な研修内容は、参加者からも好評でした。小学校教員の他に、中学校からも英語科担当教員が小中連携を意識して参加する姿が見られました。日常の授業改善や教職員の持つ課題に直結する研修を今後も計画したいと思います。
- ・平成 30 年度から始めた「能美市学びのベーシック事業」では、市内 4 小学校（国語 1 校、算数 2 校、外国語活動 1 校）を研究校に指定し、学校研究の充実を図りました。研究授業や講師の師範授業を取り入れた校内研修会を複数回開催し、各校で外部講師を年間 2～3 回招聘することで継続した指導・助言を受けることができました。より具体的に授業のポイントを指導いただくことで、学校全体での授業改善の意識が高まり、実践につながることができました。また、その成果（1 年間の研究内容、指導案、ワークシート等）を市内に発信することができました。

○意見

平成 30 年度は、令和 2 年度完全実施の小学校における外国語の教科化への対応と「能美市学びのベーシック事業」に関することに重点化した研修を行ったものと思います。

小学校における外国語に係る研修には、すでに十分な研究と実績を有する中学校の英語科担当教員が参加するなど小・中の先生方の連携した姿が見受けられた、とのことですが、市内の学校における外国語教育の水準を高める可能性を持った取組と思われます。こうした取組は、他の教科への敷衍の可能性の端緒となるのではないのでしょうか。

平成 30 年度からスタートした「能美市学びのベーシック事業」も指定された研究校に限らず、その成果を市内の学校間で共有し合い、能美市の教職員の皆さんの内発的な動機付け、さらに教育実践力の向上に寄与するものとなるよう願っています。

2 豊かな心、確かな学力の向上

平成 30 年度の主な取組

◇フォローアップ事業（2,585 千円）

能美市教育施策の大綱では、児童生徒に対して確かな学力を育む教育の充実について、さまざまな施策を進めています。特に、「変化の激しい時代を子どもたちがたくましく生き抜くために、学ぶ楽しさを感じさせる授業づくりを目指す」「基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思

考力・判断力・表現力などの能力を育む」2点を大切に考えていきます。さらに、新学習指導要領でも強くうたわれているように、子どもたちが主体的・能動的に学習に取り組むための教育も充実させています。

平成20年度より始まったフォローアップ事業は、市内の小学校4・5・6年生の希望者に対し、根上・寺井・辰口地区の3会場で地域の人材を活用し、土曜日に実施しています。算数科を主として、自学自習の確立を進める中で、学習習慣の定着、学力向上を目指します。平成28年度より、学びに大きな影響を与える3年生も希望者に含めています。

平成30年度は、先の大綱の趣旨をふまえ、「あいさつを進んでする」「よく考えて自分のための自分の勉強に取り組む」等「よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条」をもとに、学びの基本的な姿を共有し、一人ひとりが意欲的に学びを進める場所づくりに努めました。また、参加状況、講師補充等の関係で、会場を見直し、8会場から6会場に変更しました。どの会場でも、講師のきめ細やかな見守りの中で、一人ひとりの主体的な学びを進めることができました。

*会場 (平成28年度から) 各小学校近隣の公共施設

*講師数 37名

*参加児童数の推移(前期の申込状況)

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成22年度	57	42	36	135
平成23年度	47	59	49	155
平成24年度	38	53	47	138
平成25年度	39	45	42	126
平成26年度	31	28	60	119
平成27年度	27	21	25	73
平成28年度	58	32	93	147
平成29年度	36	55	40	131
平成30年度	66	56	74	196

*上記外の補充学習状況

①宮竹小学校

・1年～6年昼検定

②和気小学校

・放課後学習

評価

・これまでの確実な取り組みが積み重なり、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。

・満足度調査

児童：満足 95% やや満足 5% やや不満 0% 不満 0%
 保護者：満足 99% やや満足 1% やや不満・不満 0%

- ・講師として参加していただいている地域人材（退職教員・地域の有識者など）の確保が難しい状況です。30年度は、教員志望の大学生にも講師になっていただいています。講師を確実に確保することが今後の課題です。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（1,891千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ、すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であると考えます。

昨今、人間関係づくり（人間関係力）の未熟さなどが原因となり、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題が発生したり、規範意識やモラルの低下が叫ばれたりしています。より良い学校生活と友達づくりのためのQUアンケートを小学校4年生から中学校3年生までの全員に実施し、児童生徒一人一人の成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し、心の教育のさらなる充実を図ります。

*目的 一人一人の児童生徒の内面をつかむためにアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。

*対象学年 小学校4年生～中学校3年生全員

*実施回数 年間2回（6月・11月）

*実績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6月実施	11月実施
平成25年度	55 %	64 %
平成26年度	49 %	54 %
平成27年度	50 %	54 %

※平成26・27年度は評価方法に変更あり

「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6月実施	11月実施
平成28年度	59 %	61 %
平成29年度	58 %	61 %
平成30年度	62 %	65 %

※平成28年度から評価観点が変更

評価

- ・QUアンケートの結果は学級集団の実態把握に有効であり、学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し、人間関係力を高める取組を充実させています。
- ・本市においても、いじめや不登校に関する問題は学校教育の課題です。特に、不登校

は小学校では減少傾向にありますが、中学校では増加の傾向にあることを重く受け止めています。本市のいじめ防止基本方針においても、Q Uアンケートを積極的に活用することとなっています。いじめ・不登校問題に関して早期発見・早期対応・未然防止のために今後も有効活用していきたいと考えます。

○意見

フォローアップ事業ですが、市内 6 会場で、対象学年を 3 年生以上、実施日は土曜日を基本とし、学生を含む地域住民が講師となって取組み、「一人ひとりの主体的な学び」を進めることができた、との評価は何よりです。参加児童（平成 30 年度は 196 人）やその保護者の皆さんから肯定的な意見が寄せられ、満足度はかなり高いものとなっています。

昨年も申し上げましたが、この事業は、住民の広義の意味の「学習の成果」を活かす機会を提供するとともに、その舞台を学校近隣の公共施設が提供するというもので、地域ぐるみで「地域の子どもを育てる」という事例と評することができます。

講師としての地域人材の確保に困難が伴う、とのことですが、実施する事業の意義を理解していただくような啓発活動に取組まれながら、さらなる裾野の拡大にご努力いただきたいものです。講師として協力することを厭わない方の存在は、貴重です。

心の教育（人間関係力）推進事業については、より良い学校生活と友達づくりに資する Q Uアンケートを有効に活用して、学校や学級が児童生徒にとって、教育と学びのより良い親和的な「居場所」となるよう願っています。

また、平成 30 年度から小学校で、令和元年度からは中学校で「特別の教科 道徳」が実施されています。検定済み教科用図書だけではなく、学校の様々な教育活動や特別活動などを通じて、「考え、議論する道徳」、「社会生活の中で活かされる道徳」が一層充実したものとなるよう期待いたします。

3 教育支援の充実

平成 30 年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（36,651 千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人一人のニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や、周囲の児童生徒の学びやすさや居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

* 特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成 25 年度	19	3	22
平成 26 年度	20	5	25
平成 27 年度	21	5	26
平成 28 年度	20	8	28
平成 29 年度	23	8	31
平成 30 年度	19	7	26

評価

- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。
- ・ 市教育センター、市子ども発達支援センター等との関係機関との連携を重視しています。月に1回、市他課も交えての情報交換会があります。
- ・ 特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。年間2回の研修会を開催しています。4月には、特別支援教育支援員としての役割について研修し、9月には実際の支援について情報交換を行いながら、より有効な支援について研修を深めました。
- ・ 市内各小中学校では、特別支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を保護者との合意を得ながら決定しています。
- ・ 学校の特別支援教育支援員のニーズは高いのですが、人材確保が難しい現状があります。今後の課題です。

○意見

特別支援教育は、能美市教育施策の大綱においても「特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指す」上でも重要です。発達障がいや多動性障がいなど学習や行動面で特別な支援を必要とする児童・生徒は、増加傾向にある、とのことですが、関係機関との連携、特別支援教育支援員の確保、研修の充実などに努めていただきたいものです。

こうした取組の推進で、保護者の皆さんの不安や心理的負担の軽減に努めていただくとともに、障がいの態様に応じた個別的で丁寧な指導・支援を期待いたします。

4 教育環境の整備充実

能美市教育施策の大綱では、教育環境の整備充実について、小中学校の校舎等の整備状況を踏まえ、大規模改修や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

平成 30 年度の主な取組

学校施設の安全性と機能向上を目指し、小学校の大規模改修に向けた実施設計や、老朽化に対応した改修工事を実施しました。

◇浜小学校施設整備事業 (体育館トイレ改修, キュービクル改修)	24,066 千円
◇福岡小学校施設整備事業 (講堂トイレ改修, 給食室床改修)	12,481 千円
◇寺井小学校施設整備事業 (煙突改修, 国旗掲揚台改修)	17,854 千円
◇湯野小学校施設整備事業 (ダムウェーター改修, 電話機改修)	4,424 千円
◇粟生小学校施設整備事業 (煙突改修, グランド維持管理)	8,265 千円
◇辰口中央小学校施設整備事業 (プールろ過機取替, 防犯カメラ設置)	950 千円
◇宮竹小学校施設整備事業 (防犯カメラ設置, グランドブロック塀撤去)	897 千円
◇和気小学校施設整備事業 (体育館非構造部材耐震改修, 遊具改修)	19,834 千円
◇宮竹小学校大規模改造事業 (実施設計)	5,108 千円
◇根上中学校施設整備事業 (煙突改修, 外部用トイレ改修)	19,725 千円
◇寺井中学校施設整備事業 (高圧ケーブル改修, 体育館電源設置)	2,462 千円
◇辰口中学校施設整備事業 (理科室空調設置, 窓ガラス遮熱フィルム貼)	4,666 千円

評価

・東日本大震災発生以降、全国的な懸案事項となっています学校施設の非構造部材（吊り天井等）の耐震化について、吊り天井を有する市内小中学校 9 校の体育館・講堂のうち、耐震化が未完了となっていた和気小学校の耐震工事が完了しました。引き続き安全

安心な学校施設の整備を図っていきます。

・市内の学校施設は昭和 40 年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から 40 年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。H30 年度は宮竹小学校の大規模改造工事の実施設計を行いました。令和元年度および令和 2 年度に宮竹小学校の大規模改造工事を実施し、老朽化対策に加え、多目的トイレの整備や教室の個別空調化など、教育的ニーズや防災機能を考慮した整備を実施します。

・H30 年度に市の指定避難所となっている浜小学校体育館および福岡小学校講堂のトイレ改修工事を行い、和便器を洋便器に取替えた他、オストメイト設備を新設し、学校の防災機能を高めました。令和元年度には 4 つの小中学校の体育館トイレ改修工事実施設計を行い、さらなる防災機能向上をはかります。

H30 年度から、学校の老朽化対策を計画的かつ着実に実施していくため、学校施設ごとの中長期的な整備計画を盛り込んだ、「学校施設長寿命化計画」の策定に着手しました。令和元年度中の策定を目指します。

○意見

学校は、児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び、生活の場」としての「公の施設」であり、安全性と耐久性、快適性を併せ持つことが大切です。

能美市においては、学校施設の非構造部材の耐震化が完了したとのこと、何よりです。また、建築から 40 年を経た校舎等の老朽化への対応が大きな課題とのことですが、市施策の優先順位等を考慮しながらも、「学校施設長寿命化計画」を参酌しながら計画的・漸次的な整備を希望します。

さらに、災害等の発災時、学校施設は地域住民の避難所となる場合があるので、トイレの改修、冷暖房設備の整備など恒常的な施設の整備・点検に努め、耐震化の促進に留まることのない、「瑕疵のない長寿命の公の施設」であるよう望みます。

施策 2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、学校・家庭・地域が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

1 青少年教育

平成 30 年度の主な取組

◇ 青少年健全育成事業（557 千円）

- ・ 各種会議

- ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ◇ 夏休み期間中及び、茶碗まつり、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
 - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集
474作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（9名）】
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

◇ 心の教育関連事業（4,370千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
 - ◇ 毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
 - ◇ 8月31日(金)、9月3日(月)～6日(木)を強化週間として平日5日間に開催（延べ約3,240人が街頭に立つ）
 - ◇ あいさつデー啓発ポスターは辰口中学校2年生 中田 千尋さんの作品を採用
- ・ 野外体験
 - ◇ 教育部門と福祉部門とが連携し、結成した児童・子育て専門部会が主催する、親子野外活動「親子で虚空蔵山に登ろう！」を開催しました。本活動は、親子で自然と交わる機会を増やし豊かな心の子どもたちを育てることを目的とした親子の野外活動です。
親子12組30名が参加し、虚空蔵山ではネイチャーゲームと聴診器を使って自然に目を向け、ふれあう機会をつくりました。昼食は和気あいの里キャンプ場で飯ごう炊飯を行い、握ったおにぎりを食べました。子どもも大人も夢中になって活動し、子どもたちの健康な身体づくりと親子での思い出づくりに貢献することができました。
- ・ コミュニティスクール事業（3,166千円）
 - ◇ 多様な価値観のもと、社会がますます複雑多様化し、能美市でも子どもを取り巻く状況は変化してきています。学校では様々な課題を抱え、これまで家庭が担っていたしつけなどの多くの役割が学校に求められています。
 - ◇ このような中、平成27年度から市内全小学校で「地域とともにある学校」づくりの実現に向け「学校地域元気アップ事業」を実施し、平成29年度からは「コミュニティスクール事業」をスタートしました。市内全8小学校に「学校運営協議会」を設置し、学校運営協議会委員が各学校方針を理解し、学校の課題・目標を共有しながら学校方針の実現に力を注いでいます。平成30年度からは、市内全域の連携を強め、今後の中学校でのコミュニティ・スクール導入を見据え、「コミュニティ・スクール推進協議会」がスタートし

ました。

評価

・毎月 15 日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小・中学生の規範意識を高めています。15 日以外にも、自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。

・能美市のお祭り（根上七夕まつり、九谷茶碗まつり、辰口まつり）と子どもたちの夏休み期間中に、パトロールを実施しています。実施中に声かけを行う場合は、多くはないですが、時間帯の変更や、人数の見直しを検討しつつ、今後ともパトロールを継続し、青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。

・親子 12 組 30 名を対象に、親子野外活動を実施しました。自然と交わる機会を提供し、子どもたちに外で遊ぶことの楽しさを伝えられる良い活動になったことがうかがえます。

・今後も、さらなる子どもの健全育成のため、親子対象のイベントを実施し、みんなで協力しながら、いきいきと体を動かすことで、たくましく豊かな心の子どもの育成に努めていきます。

・平成 30 年度は、コミュニティ・スクール事業を市内全域に浸透させるため、「コミュニティ・スクール推進協議会」をスタートいたしました。現在は、市内小学校での導入となっていますが、将来的な中学校導入、また市民への認知度向上を目標とし、婦人会・PTA等からも参加を頂いています。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を目標としています。これまでの学校支援だけではなく、地域住民や保護者が校長の作成した「基本方針」に基づき、学校運営に対する当事者意識を分かち合い、ともに行動する体制を構築できるよう努めていきます。

○意見

能美市では、夏季休業や市域のイベントにおける街頭指導などによる青少年の健全育成、さらに毎月 15 日を「ふれあいあいさつデー」、またあいさつ推進の強化週間を設けるなど あいさつ運動を通して子どもたちの心の教育の推進に取り組むなど、運動の市民へのさらなる拡がりを期待いたします。

野外体験活動については、平成 30 年度 親子 12 組、30 人の参加とのことですが、単なるイベントにとどめることのない事業となるような創意工夫を期待します。

平成 29 年度からスタートした「コミュニティ・スクール事業」、それぞれの地域の事情により、取組や成果に差異はあろうかと思えます。地道な活動を重ねながら、学校と地域との連携事業のより良い在り方を見出し、中学校での実施、さらには「地域学校協働活動」の取組の基盤づくりをめざしていただきたいものです。

子どもたちが地域のことに関心を向け、保護者以外の地域の大人と接する機会となるとともに、地域住民の「地域の子どもを地域で育てる」という意識形成を目指したこの

事業のさらなる拡がりを期待いたします。

施策3 生涯学習の推進

市民一人ひとりの生きがいや心の豊かさを実現するため、学習環境づくりや公民館活動などを核とした連帯と活力ある地域づくりを推進します。

1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進

平成30年度の主な取組

◇国際交流推進事業（1,719千円）

・国際交流イベントの開催

市内小学生を対象にハロウィンパーティ(10月 参加者数244人)とイースターパーティ(3月 参加者数105人)、親子向けに海外の文化を体験するロシア風新年会(12月 参加者数100人)を開催しました。

・外国語講座、日本語教室の開催

国際交流に必要とされるコミュニケーション能力をつける外国語講座として、国際交流担当職員による英語講座初級(参加者数16人)、English Only Class(参加者数23人)、初歩、初級ロシア語講座(参加者数27人)、国際交流サロン(延べ参加者数193人)を開催しました。

言葉が通じないことで発生している、生活の不便を解消するために、市内在住・在勤・在学の外国人を対象に市内3会場で日本語教室を開講しています(延べ受講者数2,329人)。

・ジャパンテント

世界様々な国と地域から石川県を訪れた約300人の留学生と県民との交流を深める

「第31回JAPAN TENTー世界留学生交流・いしかわ2018」が開催されました。

本市では17ホストファミリーが22名の留学生を3泊4日の日程で受け入れました。

九谷焼陶芸館にて九谷焼絵付け体験や九谷焼ろくろ実演見学、辰口まつりのじょんから踊りコンクール参加など、「能美市ならではの」のプログラムで留学生をもてなしました。

・ボランティア通訳制度

外国人市民の生活を支援することを目的として実施を開始した「能美市ボランティア通訳登録制度」は、8言語・22人の登録があり、市内学校や市民団体が開催するイベントなどへ派遣しました(16件)。現在では、幅広く市民と在住外国人のコミュニケー

ションもサポートしています。

◇国際交流まつり（914 千円）

・国際交流ひろば

市民と在住外国人の交流推進，地域に住む外国人を知るきっかけづくりを目的に辰口まつりと同時開催の今年度初の事業です。能美市には，JAIST で学ぶ留学生をはじめ，多様な国籍・文化を持つ人たちが多く暮らしています。在住外国人と様々な国際交流団体，市民ボランティアが協力して，世界の 8 か国の料理屋台や異文化体験コーナーを出店しました。

異文化体験は，韓国の版画，ベトナムとインドの民族衣装着付け体験，インドのヘナアートなどがあり，列を作るほどの盛況ぶりでした。また，ステージショーではベトナムのバンブーダンスなどが披露され，多くの来場者が国籍・言葉の壁を越え，自然に手を取り合いダンスを楽しむ姿が見られました。また，同時期に来市していた JAPAN TENT の留学生とそのホストファミリー，ロシア姉妹都市シェレホフ市訪問団も訪れ，「ひろば」は，国際色豊かで賑やかなまつりになりました。

◇関連団体交流活動等支援（140 千円）

市内の国際交流活動を行う 2 団体（能美市日中友好協会，N o m i 国際交流協会）に対し，活動補助金を交付しています。

評価

国際交流担当職員が中心となり，市民が交流国の文化に触れる機会や国際交流に必要なコミュニケーションツールとして語学を学ぶ場を創出し，国際理解推進の機会を整えています。国際交流サロンなどの交流イベントや保育園・学校訪問，各種団体と連携した事業開催など，市民と在住外国人との交流機会づくりの場を創出していきます。国際理解活動を推進し，国際感覚の醸成と国際化に対応できる人材の育成に努めていきます。

平成 30 年度は，新たなる事業として「国際交流ひろば」を開催しました。J A I S T の留学生をはじめとした多くの在住外国人が一堂に集まり，市民と異文化体験を通じて自然に交流できるにぎわいの場を創出できたとともに，相互国際理解を深めることができました。

〇意見

グローバル化の時代への対応を視野に，国際交流イベント，外国語講座，日本語教室，ジャパンテント，ボランティア通訳制度などの国際交流推進事業，さらに国際交流ひろば，国際交流活動団体への支援等による国際交流まつりなどの事業を通じて，市民に国際理解の機会を提供し，市民にとって世界と関わること，世界の中の日本，「能美市と世

界」を考える意識啓発の契機になったことと思います。

とくに平成30年度から新規事業として取組んだ「国際交流ひろば」事業は、辰口まつりと併催したもので、JAIST留学生との交流、韓国やベトナム、インド等の文化の一端と触れる機会となったようで、今後とも国際色ある交流、相互の理解を促進する事業となるよう一層の創意と工夫を期待します。また、併せて単なるイベントにすることなく学習活動を伴った活動であることを願っています。

2 生涯学習活動

平成30年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2019 (455 千円)

日時 平成31年2月17日(日) 午後1時から

会場 根上総合文化会館 根上学習センター 大成町公民館 寺井地区公民館 北陸先端科学技術大学院大学

趣旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

◆分科会(8つ…422名参加)

身近な生活課題をテーマに、子どもから大人まで参加できる8つの分科会を設けました。参加者に自分のスキルアップや勉強の時間として活用してもらおうことを目指しています。

No.1 分科会

「みんなでスライディングペタンク！！」

～ニュースポーツは裏切らない?!～

No.2 分科会

木育「工夫の森CAMP」

No.3 分科会

「終活を学ぶ」

『一人で出来る！公正証書遺言の作り方』

No.4 分科会

「君たちはどう生きるのかー西田哲学入門ー」

No.5 分科会

- 「広げよう！のみはなまる体操」
No. 6 分科会
「～没後 200 年～伊能忠敬の加賀・能登測量－忠敬から学んだこと－」
No. 7 分科会
「コミュニティ・スクールの可能性」
～あなたは何をつなごうとしてきましたか～
No. 8 分科会
「子ども食堂で食べて話そう！」
～安心安全な居場所を～

◆お試し体験講座（3 つ…231 名参加）

文化活動等を気軽に体験できる 3 つのお試し体験講座を設けました。参加者が生涯学習活動を始めるきっかけになることを目指しています。

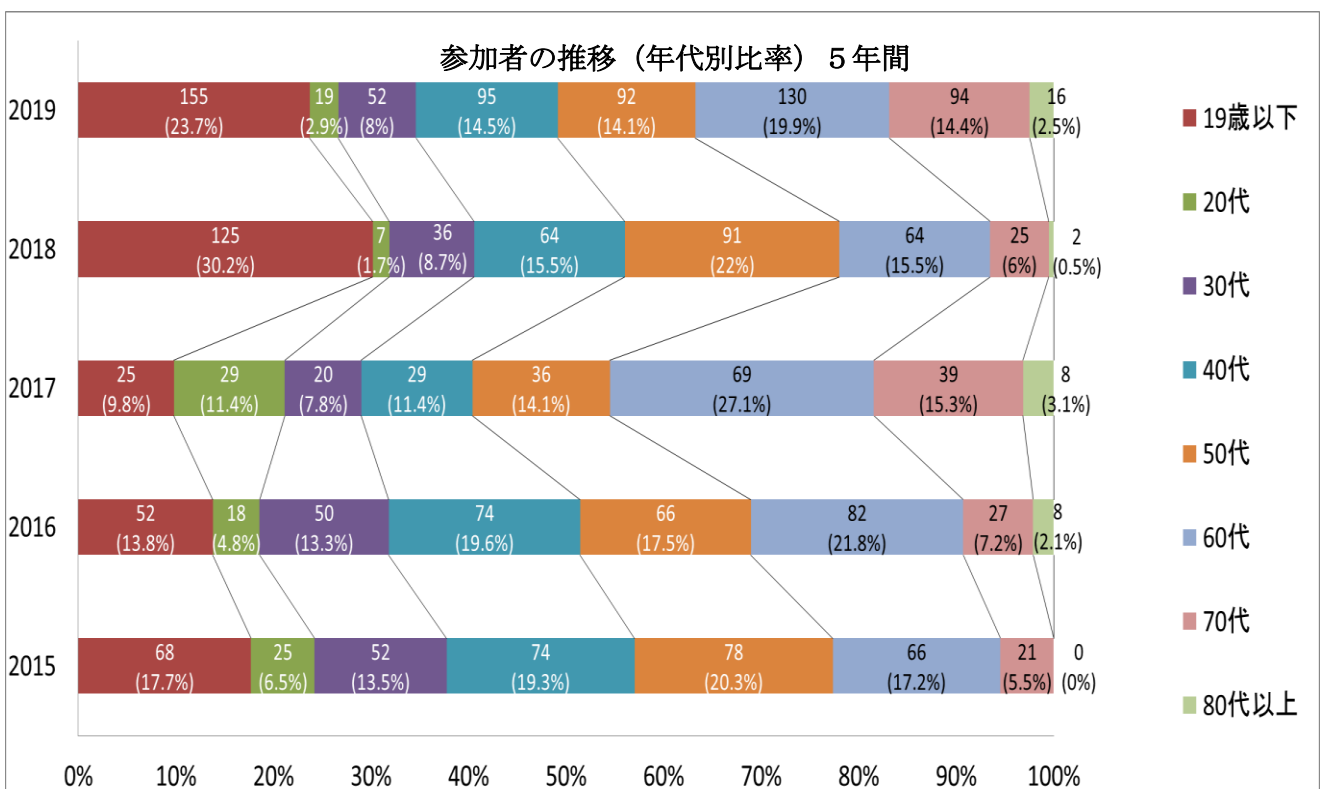
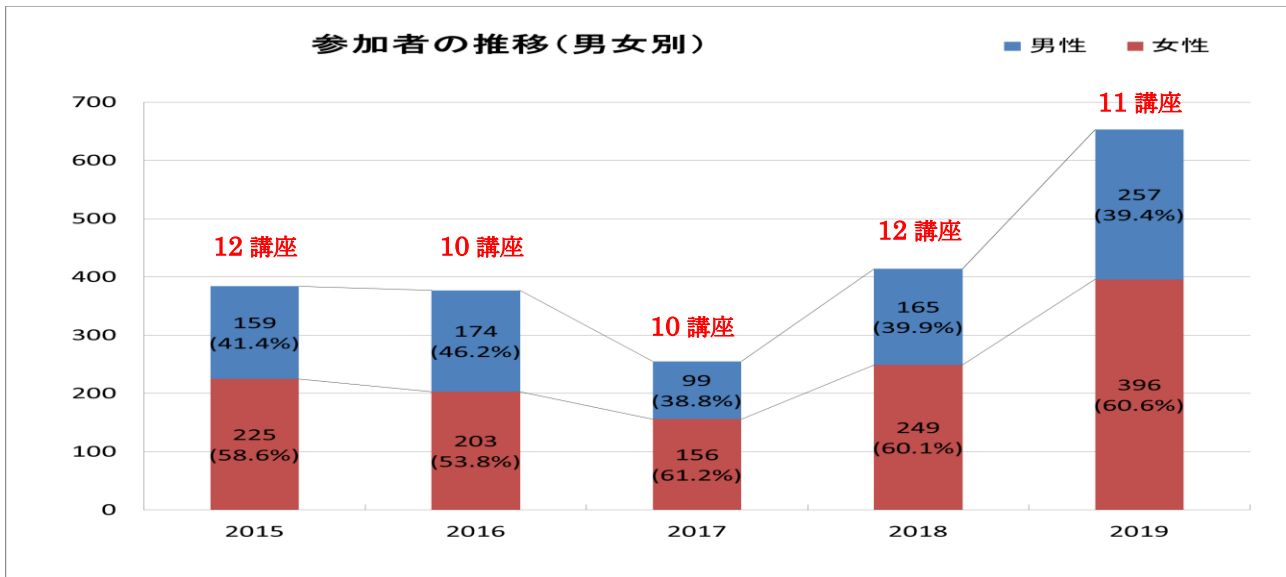
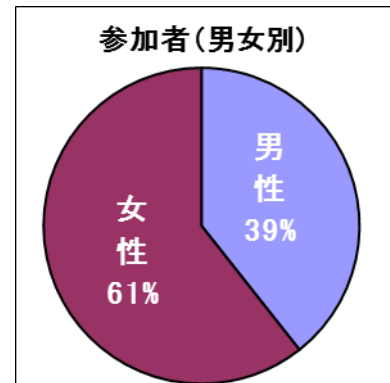
- No. 9 お試し体験講座
「楽器演奏体験会」
No. 10 お試し体験講座
「超入門！！囲碁講座」
No. 11 お試し体験講座
「短歌のすすめ」

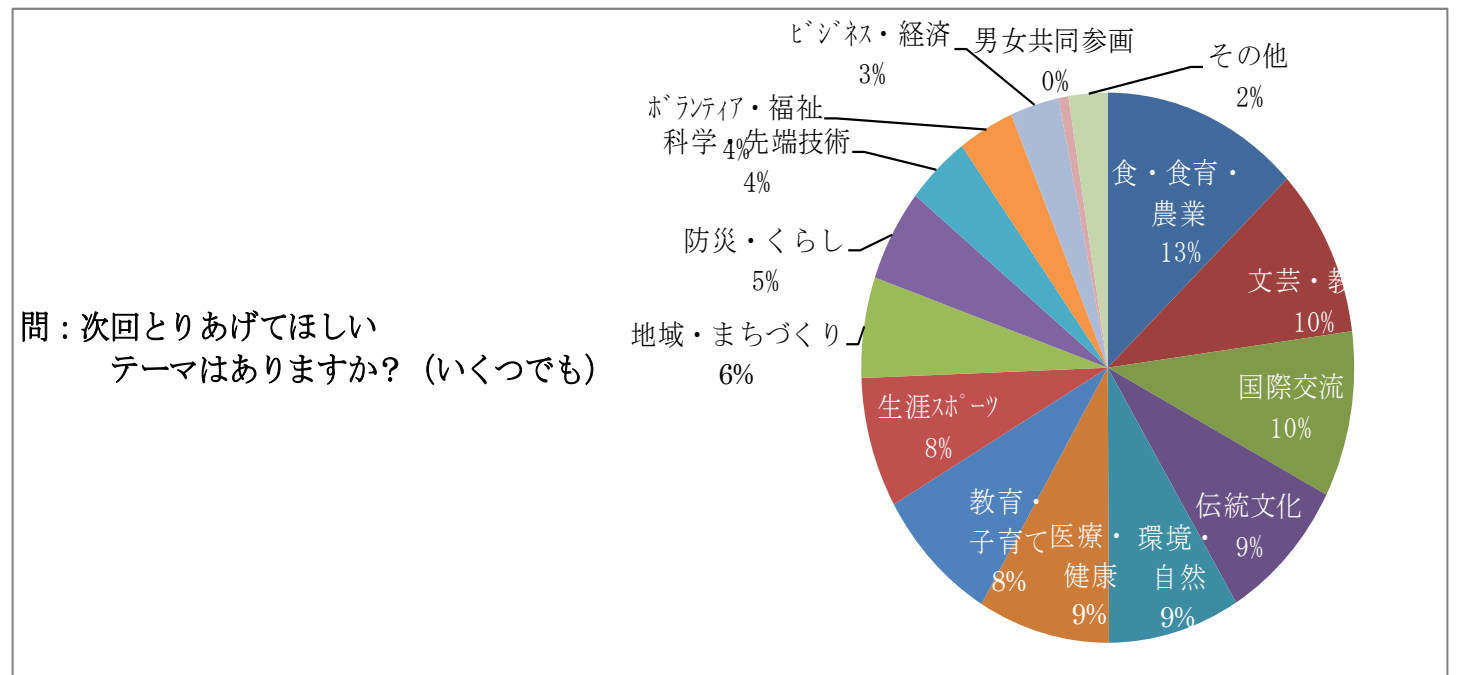
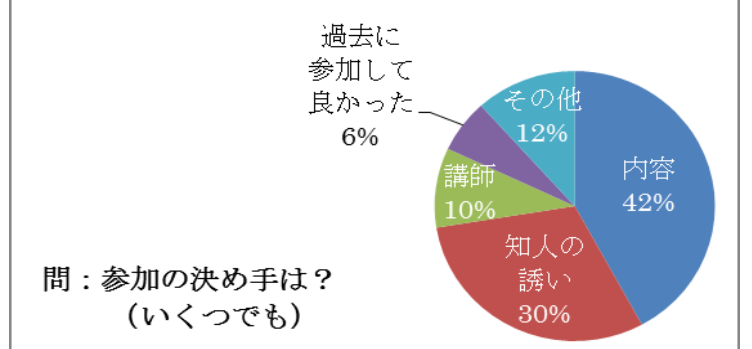
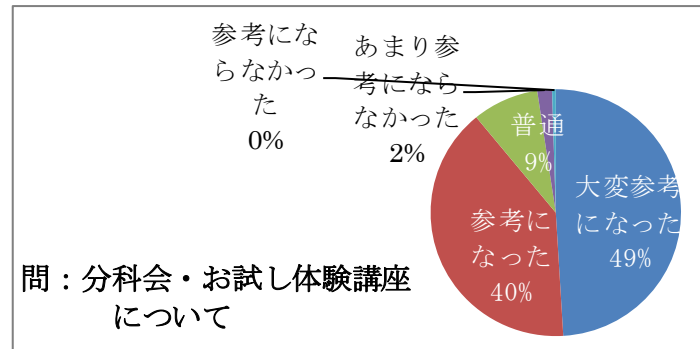
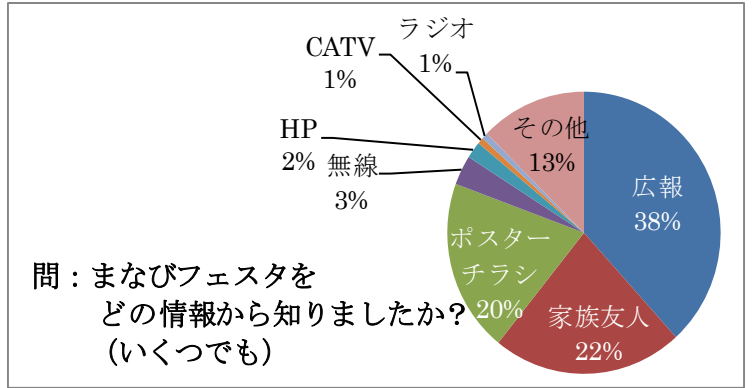
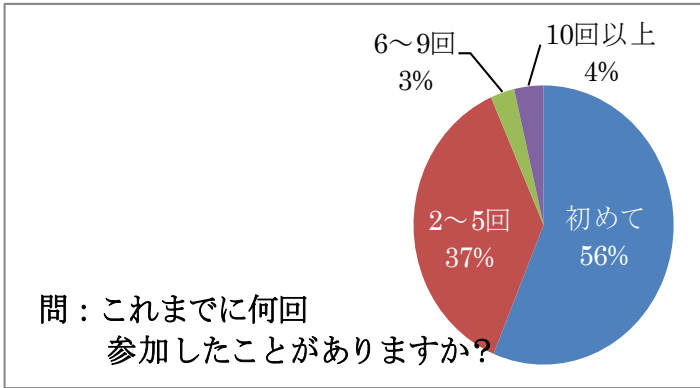
◆参加者アンケートより

- ・初めて参加しましたが、大変楽しかったです。子どもから年配までできるのでいいと思いました。
- ・子どもが参加してみたい！！というので、一緒に参加しました。子どもなりに、考えたり工夫していて、いつもとは違う学びの場となり参加して良かったと思いました。
- ・とても楽しく学ばせて頂きました。自分ではできない学びの場を提供していただいで喜んでいきます。
- ・実際に体験してみるのはとても良いことだと思います。単純な動きでも、どうせやるならここを動かすなどポイントを教えていただければ嬉しかったです。
- ・歴史上の一人物について、名前など知っていましたが、広く深く聞けてよかったです。いつでも、いつまでも学べるのは良いと思いました。
- ・普段身近に接する事の出来ない年代の方々と交流出来て良かった。
- ・普段触れない楽器が体験できて楽しかったです。次はコントラバスをやってみたいな。
- ・再び、箏に触れる機会があつてよかったです。とても上手に教えて下さり、とても楽しく演奏することができました。

- ありがとうございます。初めての囲碁体験とても楽しかったです！！とても難しいですが、これからも挑戦してみたいと思います。
- 年1回の勉強会は参加するといきいき脳が活性化します。
- 自分だけではなかなかきっかけを作れない勉強の機会が与えられて有意義なことだと思う。
- 今まで生涯学習という事にピンとしていませんでしたが、学習だけでなく人の輪も広がる気がしました。

No	分科会	人数	No	お試し体験講座	人数
1	スライディングペタンク	59	9	楽器体験	163
2	工夫の森	30	10	囲碁	35
3	終活	13	11	短歌	33
4	西田幾多郎	15	お試し体験講座 合計		231
5	体操	30			
6	伊能忠敬	40			
7	能美市CS	77			
8	子ども食堂	158			
分科会 合計		422	合計参加者数		653





評価

○まなびフェスタ

未就学の子どもから 80 代の高齢者まで、幅広い年齢層の方にご参加いただきました。親子で参加できる体験型の分科会を新規に設けたこともあり、前回と比較し 1.5 倍の参加者増加となりました。アンケートでは、89%の方に「参考になった」と回答いただき、大多数の参加者は内容に満足していることがうかがえます。感想からは、「続けていくた

い」という声もあり、まなびフェスタが各種地域活動への参画や地域の方々との交流を促進する機会となっていることを期待します。

今回は、ニュース等で話題となっている「子ども食堂」や「没後 200 年伊能忠敬」、また「のみはなまる体操」や「能美市出身プロを招いた囲碁講座」といった能美市ならではの分科会や体験講座も注目を集めました。今後も新規参加者やリピーター獲得のため、生活に沿った分科会、興味のある講座を模索しつつ、地域団体と協働し、内容の充実を図ります。

○意見

まなびフェスタは、地域住民の「学び」の成果の発表の場、「学び」を体験・交流する機会でもあります。平成 30 年度は、市内の 5 会場で開催のようですが、参加者数が、関係団体の皆さんの努力や市民の皆さんの理解と協力で増加しつつあることは何よりです。趣味的・教養的なテーマの設定とともに、例えば、「能美市の未来を語るフェア」「能美市学びとまちづくりフェア」、さらには 2030 年に向けて地球規模で取り組まれている SDGs（持続可能な開発目標）の平和、貧困、環境、ジェンダーなどの 17 の目標の中から設定したテーマによる「SDGs と私たち」などでの分科会開催はいかがでしょうか。

また、参加者対象のアンケートによると今回のフェスタには、「初めて参加」という方が半数以上という結果でしたが、結果を次年度の企画に反映されますよう期待します。

なお、学びフェスタのような文化事業は町民の豊かな感性を育て、活動する喜びを実感させ、さらなる活動へと動機づける励みの機会となるものと期待されるので、多くの市民の参加・協力を得ることができるようご尽力願います。

3 公民館活動の推進

平成 30 年度の主な取組

◇成人式(1,370 千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開 催 日 平成 31 年 1 月 13 日（日）
会 場 根上総合文化会館
時 間 10 時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	87人	109人	79.8%
	女	64人	75人	85.3%
寺井	男	84人	104人	80.8%
	女	84人	101人	83.2%
辰口	男	90人	109人	82.6%
	女	63人	81人	77.8%
計	男	261人	322人	81.1%
	女	211人	257人	82.1%

◇立志式（183千円）

14歳の少年・少女に、自ら将来に臨んで志を立て、次代を担うものとしての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に持たせるため、実施しました。平成30年度も3中学校同時に開催しました。

○式典

日 時：平成31年2月18日（月） 14：00～
 開 場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」
 参加人数：根上地区 156名
 寺井地区 199名
 辰口地区 163名 計 518名

○記念講演

講 師：北陸ミサワホーム株式会社 坂下 大輔 氏
 演 題：南極地域観測隊に参加して

◇総合文化祭

〈展示部門〉（160千円）

日 程 文化協会：11月2日（金）～11月4日（日）
 一般展示：11月9日（金）～11月11日（日）
 会 場 文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター，寺井図書館
 一般展示：根上総合文化会館
 内 容 展示を2週に分けて実施しています。1週目は生け花，川柳などの市文化協会の作品。2週目は地区公民館，CC館，児童館，そのほか各教室，サークルの作品を展示しています。

〈発表部門〉(518 千円)

○ジュニア文化発表会

日 程 10月24日(水)

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内小学校の児童が元気いっぱい合唱や演奏を披露しました。

○市民文化・芸能大会

日 程 11月10日(土)

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活躍しているサークル・団体がこの日のために練習してきた出し物を披露しました。

◇ 地区公民館・自治公民会協議会の活動 (7,988 千円)

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
3月8日	スポフェス企画委員会	根上総合文化会館
3月14日	根上地区スポーツ協議会	根上総合文化会館
3月22日	スポフェス企画委員会	根上総合文化会館
3月28日	スポフェス実行委員会	根上総合文化会館
4月11日	自治公民館協議会館長会	根上総合文化会館
5月9日	スポフェス協力員会・企画委員会	根上総合文化会館
5月11日	スポフェス協力団体会議	根上総合文化会館
5月20日	スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5月11日	各種教養講座・趣味の教室 始まる	寺井地区公民館
6月20日	公民館事業推進委員会	寺井地区公民館
6月24日	寺井地区グラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
7月1日	3世代フェスタ	寺井地区公民館
7月8日	寺井地区クリーンデー／雨天中止	寺井地区一円
8月3日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館
8月21日	自治公民館長及び体育部長会議	寺井地区公民館
9月4日	台風21号で避難所開設	寺井地区公民館
9月20日	スポフェス、駅伝、ソフトバレーボール 監督者会議	寺井地区公民館
9月22日	スポフェス壮年団説明会	寺井地区公民館

9月25日	歳末助け合い入札展打合せ会	寺井地区公民館
9月30日	台風24号で自主避難所開設	寺井地区公民館
10月7日	スポーツフェスティバル in てらい／雨天中止	寺井小グラウンド
10月14日	寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区一円
10月14日	寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
12月7～9日	歳末助け合い入札展	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
6月7日	スポフェス実行委員会準備会	辰口福祉会館
6月15日	能美市でホテルを見よう！「ホテルの観察会」	ふるさと研修センター
7月19日	スポフェス実行委員会	辰口福祉会館
8月8日	夏休み、手作り工作体験教室「本棚をつくろう」	寺井地区公民館
8月29日	スポフェス公民館長、体育部長会	辰口福祉会館
9月26日	スポフェス協力員説明会	辰口福祉会館
10月7日	スポーツフェスティバル in たつのくち／雨天中止	物見山陸上競技場
3月23日	しいたけの植菌体験	寺井地区公民館

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月13日	市役員会、監査会	寺井地区公民館
2月21日	市総会	寺井地区公民館
4月18日	市役員会	寺井地区公民館
6月23日	視察研修：名古屋トヨタ記念館、名古屋城 22名参加 市並びに3地区合同の研修会として開催	名古屋方面
10月28日	秋季研修：「鍋谷～和佐谷林道 紅葉ウォーク」 22名（大人21名、小人1名）参加	辰口福祉会館
11月10日	能美市民文化・芸能大会参加	根上総合文化会館

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月13日	根上地区 役員選任会議	根上総合文化会館
1月18日	根上地区役員会	根上総合文化会館
2月16日	根上地区総会	根上総合文化会館
4月11日	根上地区館長会	根上総合文化会館
5月20日	能美市民スポーツフェス in ねあがり	浜小学校グラウンド

6月23日	市協議会と3地区合同での春季研修会	名古屋方面
7月22日	根上七夕まつり 踊りの夕べに参加	根上総合文化会館
7月26日	根上地区役員会	根上総合文化会館
10月28日	3地区合同秋季研修会 紅葉ウォーク	辰口福祉会館
11月10日	能美市民文化・芸能大会に参加	根上総合文化会館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月6日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2月18日	寺井地区総会	寺井地区公民館
4月20日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
6月23日	市協議会と3地区合同での春季研修会	名古屋方面
6月24日	グラウンドゴルフ大会（地区公民館と共催）	寺井グラウンドゴルフ場
7月8日	寺井地区クリーンデー／雨天中止	寺井地区町内一円
8月21日	寺井地区館長・体育部長会	寺井地区公民館
9月20日	秋の体育行事監督者会議	寺井地区公民館
10月7日	スポーツフェスティバル in てらい／雨天中止	寺井小学校グラウンド
10月14日	寺井地区一周駅伝大会：19チーム 寺井地区ソフトバレーボール大会：30チーム	寺井地区町内一円 寺井体育館
10月28日	3地区合同秋季研修会 紅葉ウォーク	辰口福祉会館
11月10日	能美市民文化・芸能大会に参加	根上総合文化会館

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月25日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
2月10日	辰口地区総会	辰口福祉会館
4月27日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
6月23日	市協議会と3地区合同での春季研修会	名古屋方面
8月29日	辰口地区館長会	辰口福祉会館
10月7日	スポーツフェスティバル in たつのくち／雨天中止	物見山陸上競技場
10月28日	3地区合同秋季研修会 紅葉ウォーク	辰口福祉会館
12月22日	会計監査会	寺井地区公民館

評価

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、

大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がれたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位に設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいますが、色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されていることから、3つの地区公民館の事業量や内容に大きな隔たりが見られるのも事実です。

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられています。

辰口地区では、規模の大きな町会と、数多くの小さな町会が混在しているため、以前から地区内を6つのグループに分けてあり、グループ単位や複数の公民館での活動も見受けられ、地域コミュニティ形成に必要な存在となっています。また、根上・寺井地区においても、大小の町会・町内会が混在しています。今後も、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流をさらに強め、グループ単位や地区単位、或いは市内一丸となって、時代の変化を捉えた事業を行い、地域を元気にすることが求められます。

平成30年度は、自治公民館事業では、悪天候による寺井・辰口地区のスポーツ・フェスティバルの中止がありました。また、地区公民館運営面では、寺井地区公民館での2回の避難所開設がありました。今後は、市民の利用面だけでなく、生活面からも柔軟かつ迅速な対応の必要があります。

○意見

成人式、式典と記念講演による立志式、展示部門と発表部門による総合文化祭の開催などについての事業に係る具体的な「評価」はなされていませんでしたが、成人式や立志式は、新たな自分のスタートの意味を持つ儀式であり、自らが未来に向かって歩むことを厳粛に意識する契機となるものであり、ひとつの「学び」の機会という位置づけで今後とも取組まれますよう願っています。

総合文化祭事業も、前述の「まなびフェスタ」と同様に、子供たちを含む市民の日頃の活動の発表、交流の機会であり、参加者の生きがいややりがい育てる機会になるものですので、一層の充実を願います。

公民館活動については、3つの地区公民館、3つの地区と市の自治公民館協議会の行事名の記載ですが、昨年もお指摘しましたが、平成29年度末、文部科学省におかれた「学びを通じた地域づくりに関する調査研究協力者会議」が、「人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて（論点の整理（案）」のなかで、「地域住民が地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき地域課題とその対応について学習し、その成果を地域づくりの実践につなげる「学び」の機会として「地域課題解決学習」を提起しました。

参加者の多寡の可能性を前提としながらも、公的社会教育としての教育的意図を持つ

た人権、高齢化、資源エネルギー、地域づくりなどに関する学習機会、これも上述したSDGsと密接不可分の関係にあるテーマであり、「地域づくり」「地域創生」「地域活性化」にいささかでも寄与するものと思われます。

地域コミュニティを構成する住民の「絆」「つながり」の希薄化が各種の調査等で指摘される中、きめの細かい公民館活動は、町民の地域への帰属意識を育てる上でないがしろにはできません。昨年度の意見と同様となりますが、国の第3期教育振興基本計画の中で、基本方針の3で「生涯学び、活躍できる環境を整える」を柱に、「人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」「職業に必要な知識やスキルを身に付けるための社会人の学び直しの推進」を掲げており、住民の地道な学習が、地域づくりやまちづくり、いきがいつくりにつながる可能性を持っているように、評者には思われます。

限られた職員、担当者での運営という困難さはあるかもしれませんが、能美市の明日を創る地域自治の担い手育て、「大人」育ての場として、3つの地区公民館と自治公民館協議会、そして協議会を構成する各自治公民館における地域住民のつながり、絆づくりに資する事業や講座の開設への取組を期待します。そうした意図的な講座の開設、評者の言う「攻め」の社会教育の推進、公民館活動が今こそ求められているように思います。

併せて、金沢大学では、2020（令和2）年度から「社会教育士」を養成する社会教育主事講習を開催する予定であり、可能なら、地区公民館に社会教育士を配置することについてもご検討いただけたら、と思います。

4 社会教育施設の運営

◇市立図書館（126,650千円）

図書館の運営方針に基づき、3館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

平成30年度の主な取組

○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と3館の持ち味を生かした資料収集を行いました。
（根上図書館：ビジネス書 寺井図書館：美術資料 辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

◎利用状況（平成31年3月末統計）

- ・蔵書数 : 407,221 冊
- ・人口 : 50,053 人 (平成 31 年 3 月 31 現在)
- ・登録者数 : 44,204 人
- ・登録率 (市民) : 58.8%
- ・貸出者数 : 112,182 人
- ・市民一人当たりの貸出冊数 : 6.9 冊
- ・貸出冊数 : 469,066 冊
- ・蔵書回転率 (貸出冊数÷蔵書数) : 1.2 回

○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

◎講座・講演 (短歌講座・まちづくり出前講座など)

◎年代に応じた児童サービス (ブックスタート・定例おはなし会・保育園や児童館などへの出前おはなし会・乳幼児向けのおはなし会・親子映画上映会・工作教室など)

◎保育園・小中学校との連携事業 (小中学校へのブックトーク・保育園や小中学校への移動文庫・小学一年生の図書館招待・中学生の職場体験・読書スタンプラリーなど)

- ・関係機関や各種団体との連携事業

◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携

◎関係機関と連携した展示の実施

福祉課「自殺予防」・健康推進課「生活習慣病」・地域振興課「男女共同参画」
学校教育課「道徳教科書」・のみ商業組合「まちゼミ関連本」

○ 啓発・広報事業

図書館通信の発行 (月 1 回)、時事の話題をテーマにした企画展示、年齢別図書リスト配布などを行いました。

○ 職員研修

職員の専門的力量的の向上を図るため、職員研修を実施しました。

1 月 4 日「危機管理研修」講師に警察署員

評価

- ・図書館運営方針に基づき、3 館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を実施しました。
- ・資料収集事業では、利用者が図書館資料を円滑に利用できるように、わかりやすく、興味を引く配架の工夫など読書環境を整えることに努めました。
- ・貸出閲覧事業では、インターネットからの予約や県内外図書館との相互利用を活用して、利用者への資料提供に努めました。
- ・児童サービスについては、「第 2 次能美市子ども読書活動推進計画」を基に、各年代に応じた事業を保育園や小中学校と連携して取り組みました。令和元年は「第 3 次能美市子ども読書活動推進計画」の改定予定で、計画の点検と見直しを行います。
- ・平成 30 年は寺井図書館新館開館 20 周年、辰口図書館新館開館 15 周年にあたり、記念事業を行いました。令和元年は根上図書館新館開館 15 周年と能美市立図書館合併 15

周年に向けて、記念事業の実施を計画中です。

- ・職員研修の実施と研修成果を職員全員で共有することに努めました。
- ・各年代に応じた図書館サービスの実施や蔵書の充実などで、利用機会の拡大を図りましたが、図書館利用の貸出人数、貸出冊数とも減少傾向にあります。新たな利用者の開拓や継続利用者の増加に向けて、図書館全体で課題を共有し解決することで、利用促進を図っていく必要があると考えます。

◇ 根上学習センター（32,599千円）

根上学習センターは、図書館を併設した展示・発表会、研修会、サークル活動及び宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」など、多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者まで幅広く利用されています。

平成30年度の主な取組

宇宙や科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業の企画運営は、金沢大学准教授を指導顧問に迎え、能美星の会、根上いん石の会、市内小中学校などで構成する企画運営委員会で、事業内容を協議して事業を実施しました。

- 1 当市には石川県に唯一落下した根上いん石があることから、宇宙への興味・関心を高める機会として、市内小学4年生対象の「星空・いん石学習」、中学3年生対象の「いん石講演会」、保育園園児を対象に根上図書館との共催による「プラっとお話。」を実施しました。また、一般市民を対象に能美星の会の会員が講師となり、プラネタリウムを活用した星空教室、当センター屋上等で望遠鏡を使った星空観察会を実施し季節の星空や天文現象に親しむ機会を提供しました。
- 2 小学生対象に、身の周りの不思議に気づき、発見し探究する場として、おもしろ科学教室、おもしろ科学工作教室、ガリレオクラブ等の教室を開催し、熟練講師による指導、運営によって、科学に対する意識の高揚を図りました。
- 3 夏休み期間には、宇宙や科学により身近に体験する機会として「サイエンスフェスタ」を開催しました。学校及び市内の有志のご協力による「科学の館屋台店」「サイエンスショー」JAXAの支援による小学生対象のコズミックカレッジ、根上いん石の実物展示やプラネタリウムの無料開放等を実施しました。

評価

施設の研修室や学習室は市民の交流の場や生涯学習の場として、各種団体等に日常的に使用されており、今後も能美市の生涯学習施設として、活用されるよう施設の運営管理に努めていきたいと思います。

小学生対象の教室は、楽しみながら不思議を発見したり、ものづくりのおもしろさを

体験したり，科学への興味，探究心，創造力を育てることに繋がるものです。しかし，社会の変化により，子どもたちの生活が多様化しており，近年，参加者の固定化と減少傾向が見受けられます。

参加者の増を図るには，保護者への周知と理解を得ることが重要であることから，保護者の積極的な参観の受け入れや地域との連携等について，主催事業企画運営委員会のご意見を頂くとともに，若手指導者の確保に努め，事業成果に繋げていきたいと思えます。

◇根上総合文化会館（155,311 千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け，利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では，市，市教育委員会の主催事業をはじめさまざまな催し物が年間を通して開催されています。

利用状況（平成 30 年度）

年間利用件数	2,606 件	（平成 29 年度	2,530 件）
年間利用者数	107,698 人	（平成 29 年度	124,539 人）

評価

根上総合文化会館

市内外の企業，学校，生涯学習活動団体等から，会社説明会，展示・発表会，練習，講座を開催する際にご利用いただいています。

また，平成 25 年度よりこれまで 2 箇所に分散されていた教育委員会の機能を集約した能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

根上総合文化会館主催事業として，演芸，演劇，映画上映会，オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏会等幅広い演目のイベントを開催しました。また，11 月を中心に各施設で行われていた様々なイベントを「能美市アットホームタウンフェスティバル 2018」に統合して開催し，市民の皆様に周知を行ったところ，非常に多くの皆様にご来場いただきました。

なお，根上総合文化会館も開館して 24 年を超えましたが，今年度も幅広い世代に喜んでいただくため，収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫をし，取り組んでいます。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに，これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上，広報活動に努めます。

◇勤労青少年ホーム（2,501千円）

生涯学習講座や各種サークル活動の余暇活動の拠点として利用されています。

評価

近年、高齢者等の生涯学習の場として供されていますが、施設の老朽化が進んでおり、現状の維持に努めながら、市民の学習活動の場としての活用を図ります。

○意見

市内の根上、寺井、辰口の各図書館が、「地域や住民に役立つ図書館」を目指し、連携しながら資料収集事業、貸出閲覧事業、読書活動推進事業、啓発・広報、職員研修事業に取り組まれたものと思います。また、3館がそれぞれの持ち味を生かし、ビジネス書、美術資料、郷土資料等に役割分担した資料収集の試みは首肯するものです。

残念ながら、巷間「活字離れ」が指摘されている状況を反映しているかのように、貸出人数、貸出冊数の減少がみられるとのことですが、改めて図書館は、「読書センター」であり、「学習センター」であり、「情報提供センター」であり、かつ今日的な言い方をすれば、「地域創生貢献センター」的な機能を果たすことが期待されているようにも思われます。

限られた人的体制ではありますが、今後とも図書館法第3条に規定する図書館奉仕としての事業の拡充を図り、市民の皆さんの読書活動への支援、能美市の産業振興への貢献、市民のための利便性の向上に取り組まれますよう期待いたします。

図書館機能、展示・発表・研修会場、サークル活動そして「子ども宇宙科学室」など様々な学習機能の複合施設としての根上学習センターですが、特に科学への興味・関心を育てるため隕石講座、星空観察会、科学教室、サイエンスショーなどを実施されておられます。これらの企画や実施にあたっては、予算の確保、指導者の確保、実験器具の制作や調達など、何かとご苦勞がおりかと思いますが、今後ともご努力願います。

「タント」として親しまれている根上総合文化会館が、引き続いて学校、企業、様々な機関・団体等に、会社説明会、研修、展示・発表会、演奏会等の場として利活用されていることは歓迎されるべきことと存じます。また、市内の様々な施設で開催のイベントを「能美市アットホームタウンフェスティバル」に集約して実施し一定の効果がみられた、とのことですので、今後とも、利用者や市民の皆さんのアンケート等による「声」を丁寧に拾い上げ、主催事業の企画や実施を通じて市民ニーズに応えることのできる事業展開を期待いたします。

勤労青少年ホームは、高齢者の生涯学習の場と化しつつあるとともに老朽化が進んでいる、とのことですが、今後とも、ホームの居住性、快適性の向上にご尽力願いたいものです。

施策 4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

1 文化財の保存と活用

平成 30 年度の主な取組

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・11,076 千円）

①秋常山古墳まつりの開催

9月23日(日・祝)に秋常山史跡公園を会場に“能美のまほろば 秋常山古墳まつり2018”を開催しました。この祭りは、秋常山古墳群に眠る1,600年前の大王、巫女に秋の実りと収穫を感謝し、能美市の今後の繁栄を祈ることをテーマとしたもので、今年で7回目の開催となります。秋常山古墳群をはじめとする能美市の古墳を幅広い世代に知ってもらい、親しんでもらうことを目的にしています。

今年は、古代体験コーナーやステージイベント、飲食ブースとともに、能美市で新しく博物館を建設することから、新博物館の紹介コーナーや「みんなでつくる博物館プロジェクト」と題して新博物館に飾る九谷焼タイルの制作コーナーも設けました。

当日は晴天にも恵まれ、古墳ボランティアが中心となって企画した勾玉作りや組紐作り、火起こし体験、「ドキドキ！ハニワ！ミニ選手権」などの古代体験コーナーは多くの親子連れで賑わいました。古墳公園内ではスタンプラリーを行い、子どもたちが楽しく古墳をめぐっている様子が見られました。「教育・体験型移動動物園」のコーナーも大好評でした。

また、古墳まつりに向けてスゾアキコさんによる古墳マンガ「能美古墳群ドキドキ！コーフン！大冒険」を制作し、マンガの販売も行いました。

ステージでは粟生保育園や古墳の地下に眠る「守護怪獣ガノー」の出演とともに、メインイベントとして毎年恒例となった粟生小学校の子どもたちによる古墳儀礼の再現を行いました。古墳時代の大王、武人、巫女に扮した子どもたちが夏休みに自分達で作った土器や埴輪を使って、当時行われたであろう古墳での儀礼を演じ、古墳に眠る大王に感謝の言葉を述べました。

儀礼の終焉とともに、幻想的な雰囲気にもまれて祭りは閉幕しました。入場者は約1,000名と昨年よりも多く、古墳を活かした有意義なイベントになりました。

②能美古墳群出土品の再整理

国指定史跡能美古墳群から出土した遺物のさらなる保存と活用を図るため、出土遺物のクリーニング作業や保存処理作業を業務委託により行いました。

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助、単独・継続事業・8,235 千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の整備事業を進めました。今年度は、西山古墳群史跡指定地内の急傾斜地保護工事に係る地質調査及び工法検討を業務委託により行いました。

◇和田山・末寺山古墳群保存整備事業(補助・単独・新規事業・54,269 千円)

和田山・末寺山古墳群の一部に急傾斜地土砂災害特別警戒区域があることから、地元住民の安全と史跡の保護を図るため、末寺山古墳群の法面保護工事を行いました。

◇博物館建設事業(単独・継続事業・150,285 千円)

2020 年秋の開館を目指して、新能美市立博物館(仮称)の建設を進めています。今年度は、有識者や市民よりなる「新能美市立博物館(仮称)建設準備委員会」の指導、助言を得ながら計画を進め、10月29日に起工式を執り行い、いよいよ建設工事に着手しました。今年度は建物の基礎工事まで予定通り進みました。展示制作にも着手し、内容の詳細を検討していきました。

また、新博物館の開館に向けたソフト事業として「みんなで作る博物館プロジェクト」を企画し、博物館建設のPRにも努めました。

評価

【史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業】

- ・古墳まつりは、能美古墳群をわかりやすく紹介する「古墳マンガ」の作成や、古墳雑貨店の出店など新たな試みを行い、イベントのマンネリ化を招かないよう工夫することができました。
- ・新博物館建設の紹介コーナーや「みんなで作る博物館プロジェクト」と連携した九谷焼タイル制作を行うなど、古墳の新たな活用拠点となる新博物館建設のPRにも繋げることができました。
- ・「秋常山古墳まつり」において、古墳を舞台にしたイベントや古墳に関連したコーナーをさらに設けることにより、より身近に感じてもらえるよう工夫の必要があります。
- ・出土品の再整理はさまざまな成果を得ることができました。今後の課題としては、その成果をどのようにわかりやすく伝えていくか、新博物館での展示方法などを検討していく必要があります。

【史跡能美古墳群保存整備事業】

- ・西山古墳群の史跡指定地内における急傾斜地対策を検討したことで、今後の具体的な安全対策工事が進められるようになりました。
- ・今後は、史跡公園として活用できるよう発掘調査などの史跡整備を進めていく必要があります。

【和田山・末寺山古墳群保存整備事業】

- ・法面の保護工事を行うことで、住民の安全な暮らしと史跡の保護を確保することができました。
- ・今後の課題としては、同様の急傾斜地が能美古墳群内に4ヶ所存在するため、それらの対策工事も早急に進めていく必要があります。

【博物館建設事業】

- ・実施設計を基に、建築工事、展示工事を進捗させることが出来ました。さらに、「みんなでつくる博物館プロジェクト」を展開することで、博物館建設の機運向上に繋げることができました。
- ・今後の課題としては、博物館建設を着実に進めるとともに、市民へのさらなる周知と気運向上に繋がるプロジェクトを展開していく必要があります。

○意見

天気に恵まれての秋常山史跡公園を会場とし、五穀豊穰と能美市の今後の繁栄を願って開催の第7回秋常山古墳まつり。引き続いての保育園や栗生小学生による古墳儀礼の再現、新博物館に係る情報提供、さらに古墳ボランティアの方々による企画などを通じて昨年よりも多くの方の参加が得られたとのこと、何よりかと存じます。能美市における古墳群の存在そのものが、「地域における動かざる価値」という思いがいたします。古に生きた人類の活動や生きる術に思いを馳せながら、現代の文化や暮らし、工夫の様子などへの変遷を考える機会のさらなる内容やイベントの充実を願っています。併せて、史跡能美古墳群、和田山・末寺山古墳群の整備保存事業、「みんなでつくる博物館プロジェクト」等の事業が、効果的に進捗するとともに、地域の歴史的、文化的、学術的「財産」を様々な方法で発信してくださることを期待します。

2 博物館の活動

◇教育・普及活動（85千円）

みんなでつくる博物館プロジェクトなど（辰口地区公民館との共催を含む）

講座名	期日	講師	参加者
能美市のいきもの	4月24日（木）	いしかわ動物園 山本 邦彦	40
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	第2土曜日 8回開催	日本野鳥の会石川県支部 幹事 高 剋滋・高 文子	111
昔ながらの道具を使ってお米を育てよう～田植え編～	5月19日（土）	博物館友の会 平野 俊也	14
親子で野鳥を楽しもう	6月2日（土）	日本野鳥の会石川県支部 幹事 高 剋滋・高 文子	13
日本一小さいトンボを見に行こう	6月23日（土）	石川むしの会 富沢 章	20

能美市でホテルを見よう	6月30日(土)	石川むしの会 会員	83
川の中の生きものを探そう	7月24日(火)	いしかわ動物園 山本 邦彦	18
木工体験 本棚を作る	8月8日(水)	地区公民館・博物館職員	47
ハニワ作りに挑戦! & 九谷焼 焼タイル絵付け体験	8月10日(金)	博物館職員	25
麦わらで遊ぼう! 簡単ヒンメリづくり	8月18日(金)	博物館職員	30
どんぐりで作ろう! 学ぼう! 染めよう! どんぐり細工教室	10月27日(金)	博物館職員	11
昔ながらの道具を使ってお米を 育てよう~脱穀・もみすり編~	11月23日 (祝・金)	博物館友の会 平野 俊也	14
オリジナル門松としめ飾りをつくろう	12月23日(日)	CC館ワーキンググループ 辻 隆志・中田 二郎 博物館友の会 平野 俊也	38
平成時代30年を振り返る	2月4日(月)	元石川県立歴史博物館 本谷 文雄	50
バレンタイン直前企画 古墳お菓子づくり	2月9日(土)	博物館職員	14
キノコの植菌体験	3月23日(土)	小川 将友 地区公民館・博物館職員	23

団体見学の受け入れ

学校教材 市内小学校・・・3年生 4校 児童245名

出前講座

- 9月25日(火) 能美の民話について(辰口中央小3年)
- 10月9日(火) 民話について(辰口中1年)
- 1月18日(金) 能美市ってこんなところ (石子町)

博物館友の会

講演会・・・総会 講演会 「能美市のいきもの」
講師 いしかわ動物園 山本 邦彦 氏

新年会 講演会 「平成時代 30 年を振り返る」
講 師 元石川県立歴史博物館 本谷 文雄 氏

研修会・・・春季 日帰り研修旅行
石川県立美術館「若沖と広瑤」
石川県立歴史博物館
21 名参加

秋季 一泊研修旅行
京都国立博物館「京の刀匠の技と雅の心」
京都迎賓館，司馬遼太郎記念館
奈良国立博物館「正倉院展」，興福寺
21 名参加

ボランティア

蟹淵目視観察（7 回）・草刈など 参加延べ人数 22 名

◇調査・収集・記録事業（259 千円）

①生物生息調査

・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議（4 月～3 月）

評価

新博物館建設にともない旧能美市立博物館の建物が取り壊され、建物がない中で活動する一年となり、新博物館建設を広く市民に周知するとともに、新博物館に親しみを抱いてもらおうと「みんなでつくる博物館プロジェクト」と題して様々なイベントを開催しました。

自然分野では、野鳥観察会や昆虫観察、ホタル観察、水生生物の観察と、生き物の観察イベントを多数開催しました。どのイベントでも、子どもたちが生き物を見つけたり捕獲したりした時の喜ぶ姿や、専門家からの詳しい解説に興味深げに耳を傾ける姿が見られました。

民俗分野では、博物館所蔵の昭和 20 年代の農機具を使って稲作体験を行いました。5 月の田植えから同じメンバーで、除草、稲刈り、脱穀・籾摺り・試食、さらに、稲わらでお正月飾り作りも行い、一連の農業を体験してもらいました。また、民俗展示に活用するため、体験の様子を資料として撮影も行いました。子どもたちから、昭和 20 年代の農作業の大変さを知って驚く声や、自分で育てたお米はっそう美味しく感じた、など

の声をいただきました。

歴史分野では、ハニワ作りや古墳お菓子づくりを行いました。ハニワ作りは夏休みに開催したこともあり申し込みが殺到し、歴史を学べるとともに、埴輪が夏休みの工作にもなると大好評でした。同時開催した新博物館の壁面を飾る九谷焼タイルへの絵付けも、良い記念になる、新博物館にタイルを見に行きたいと嬉しいお声を多数いただきました。古墳お菓子づくりは、国指定史跡能美古墳群の和田山 1 号墳出土の六鈴鏡そっくりのチョコレートや能美古墳群の古墳の形をかたどったクッキーをつくる体験で、金沢市や内灘町など市外からの申し込みも多く、大変好評でした。このイベントに集まっていた女性陣を対象に「のみ古墳女子」が発足。女性目線で古墳を楽しみ、魅力を発掘することを目標に活動しています。

一つ分野だけでなく、歴史と自然、民俗と自然の複合型のイベントも開催し、アンケートの結果、すべてのイベントで満足度 100%を得ることが出来ました。

こうしたイベント以外にも、出前講座や、小学校 3 年生の昔の暮らし学習に対応のため民具を収蔵している倉庫を利用して解説も行いました。

博物館という建物がない現状で、市民の皆さまにご不便をおかけしているため、イベントの開催や出前講座、収蔵庫の見学などを行い、臨機応変に市民の皆さまの要望にお応えする一年となりました。しかし、申込み数が伸び悩むイベントもあり、広報活動を検討する必要があると感じました。また、多くのイベントを開催すると、展示内容の検討や資料の再整理・収集など、新博物館建設準備に割く時間がその分減ってしまうというジレンマを抱えた一年でもありました。今後は、魅力的なイベントの開催、効果的な広報活動を行っていくとともに、新博物館建設にも注力してまいりたいと思います。

○意見

旧能美市博物館の取り壊しに伴い、館（やかた）の無い中での活動ではあっても年間を通して事業を実施されたご様子、さぞかし困難を伴ったことと思います。直営の様々な講座、出前の講座による「届ける博物館活動」、さらに講演会や研修会などによる友の会活動などを通じた事業により、自然分野での各種観察会、民俗分野におけるストーリー性ある農業体験、歴史分野での「のみ古墳女子」会の発足など、教育施設としての博物館の機能と役割を発揮しようとしているとともに、裾野の拡がりに努めようとしていることをうかがい知ることができます。市民の皆さんがこぞって期待する新博物館に息吹を与えるための地道な準備が進められていることと思いますが、今後とも、創意・工夫ある事業の展開を期待するとともに、新博物館の建設を一つの契機に SNS 等による広報等についても積極的に取組んでいただきたく存じます。

3 文化振興

平成 30 年度の主な取組

◇文化連盟・協会（4,752 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り，連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 37 協会。

◇民俗芸能保存伝承（620 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより，後継者の養成，地域社会の活性化，世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 14 団体。

評価

文化連盟・協会への補助を行うことで，経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や美術展，発表会などで市民に成果を発表することで，市民の文化意識が向上しています。

小中学生対象に年 2 回行っている席書大会や，市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など，連盟・協会員以外の方が参加できる機会をもうけることにより，市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第 14 号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行うことで，教室や練習会を開催できています。研鑽した日頃の成果を能美市の祭りやイベントなどで積極的に披露することで，伝統文化を守り伝えていきます。

○意見

文化は，地道な活動の継続により花開くという側面を持っていることから，市の文化連盟・協会加盟の 37 協会や民俗芸能保存伝承 14 団体への支援は，当該組織・団体の活動基盤の強化や市民の間に文化的雰囲気醸し出していることは紛れのないことでありますので，引き続きの予算措置等を願っています。

特に評価欄には記されておりませんが，昨年に比し協会や構成団体それぞれ 1 つずつ減となっているようです。担い手の高齢化や後継者不足にいかに対応するかなどの課題がおりかと存じますが，団体がもっている魅力，「良さ（有るもの）探し」をしながら，地道に着実な活動を推進して少しでも協会や団体の裾野が広がるよう願っています。

施策5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

1 競技スポーツの充実・強化

平成30年度の主な取組

◇県民体育大会への選手派遣（7,599千円）

輪島市を主会場に開催された「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣するための補助を行いました。猛暑の中、輪島市を中心とした各会場では熱戦が繰り広げられました。男子総合4位、女子総合5位となり、選手が一丸となって健闘し男子は順位を一つ上げ、女子は昨年と同じ順位を維持しました。

◇能美市民体育大会（818千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設を利用して開催され、今年度は27競技が開催され、その運営補助を行いました。

◇第43回全日本競歩能美大会（10,472千円）

アジア最高峰の大会である「アジア陸上競技選手権大会 20km競歩」を兼ねるとともに、「第13回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、「ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 男子・女子20km競歩代表選手選考競技会」「第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)日本代表選手選考競技会」にも位置付けられた大会に10部門計359名がエントリーし、大会の運営費として補助を行いました。今回は、13年ぶりとなる高校生の部を開催し、競歩の競技力向上を一貫して行う大会となりました。石川県勢の入賞は男子中学生の部において2位山本優喜、4位新田響、5位川根柊也、8位上平永遠、女子中学生の部において、4位西住早織、6位新家彩桃の合計6名でした。かねてからの課題であった賑わいの創出について、前夜祭として競歩に関連するスポーツ講演会や、大会当日にウォーキング大会を関係団体と連携し開催し、更に大会の沿道に飲食店などを設け、抽選会を開催するなど「エンジョイパーク」と銘打つイベントを実施したことにより、多くの観客にお越しいただくことができました。

期 日 平成31年3月17日（日）

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営20kmコース（往復2km）

◇第 61 回全国銃剣道能美大会（1,200 千円）

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会です。平成 30 年度は全国から 166 チーム、1,001 名が出場し、団体の部、個人の部でそれぞれ日本一を目指しました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものであります。県民体育大会は、輪島市を主会場として開催されました。遠方にもかかわらず、能美市体育協会を始めとした各単位協会が力を入れて臨み、男子総合 4 位・女子総合 5 位と健闘しました。次回大会は主会場が小松市であり、前回よりも 1 週間早い開催ということもあって、より選手が出場しやすく多くの参加が予測されるため成績の更なる向上を目標に取り組んでいきます。

全日本競歩能美大会及び全国銃剣道大会、全国大会でありながら特殊性があり、馴染みの薄い競技ではあるものの、競技レベルは非常に高いものとなってきました。ハイレベルな大会であり、銃剣道は全国から、競歩においてはアジア各国から選手が訪れる大会にもかかわらず、市民に十分に浸透していないこれらの大会をより盛り上げる取組みを今後も継続して参りたいと思います。平成 30 年度においては前述の通り全日本競歩能美大会において「エンジョイパーク」や関連団体イベントを同時開催したことにより、沿道にはたくさんの観客に溢れ、例年にはない賑わいとなりました。

銃剣道大会については、全国各地からお越しになる選手に、市の PR をするため、市観光物産協会と協力して物販ブースを展開しました。土産物などを販売するテントでしたが、非常に好評で、全国各地からお越しになった選手たちが広告塔として、それぞれ選手たちの地元で市の特産品を使った土産物を目にいただける機会になりました。

次年度は各主催大会で観客の更なる増加を目指した取組み、また平成 30 年度の取組みを改善し継続する方策を検討し、より市民に身近な大会づくりを目指します。

○意見

輪島市を主会場として、猛暑のなか開催された県民体育大会での男子総合 4 位、女子総合 5 位おめでとうございます。全日本競歩大会は、競技レベルの高さを国の内外に発信する場となっていますし、銃剣道大会ともども、能美市にしっかりと定着した大会となっています。競歩にちなんだ講演会の開催、「エンジョイパーク」の開催など、大会の運営や接遇に工夫を凝らし、能美市らしい「おもてなし」、銃剣道大会会場での物産ブースの設置など「能美市」のアピールに効果的であったのではないかと思います。今後とも、市民や国民の間にこれら競技の認知度を高める工夫をさらに期待するものです。

2 生涯スポーツの普及・振興

平成 30 年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動（3,300 千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び底辺の拡大を図るため、市内 44 クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修やスポーツ交流大会を開催、指導力の向上を目的に指導者研修会を開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っています。

◇高齢者健康クラブ活動（931 千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内 3 クラブ 111 名の高齢者が 3 会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成研修会等に参加する等、3 クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っています。

◇能美市スポーツ推進委員会（1,489 千円）

地域に密着したスポーツ推進活動を行っており、主にニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンにスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。今年度は町会のレクリエーションにはじまり、親子レクリエーションや企業のスポーツレクリエーションとして、ニュースポーツの出前講座を 16 回開催しました。また、全日本競歩能美大会などのスポーツイベントの運営にも協力しました。

評価

ジュニアスポーツクラブ活動について、自主財源の確保について協議を行い、補助金に頼らない自立化を目指す方向性を指導しました。また、指導者研修会は今年度はメンタルコーチを講師に迎えて講演会を開催しました。メンタルトレーニングの大切さを知ることができる有意義な時間を過ごせました。高齢者健康クラブについて、普段市内の 3 クラブは別々に活動をしており、交流する機会も少ないため、親睦を深める意味でも加賀地区交歓大会や石川県健康クラブ交歓大会に参加し、市内や県内のクラブとも交流しました。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会について、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。その需要は年々高まりつつあり、子どもから高齢者まで幅広い年代で生涯スポーツに親しみたい方から依頼が来ております。今後も継続して出前講座を続けていく中で、出務していただいているスポーツ推進委員のモチベーション維持が課題とし

て挙げられており、委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

○意見

子どもから高齢者にいたる多くの市民が、生涯にわたって自分なりに親しむことのできるスポーツを持つことは、生きがいつくりや健康・体力づくり、生涯スポーツの普及・振興につながるものです。

市内 44 のジュニアスポーツクラブ活動への支援及びクラブ指導者研修会、市内 3 つの高齢者健康クラブへの支援及び交流会の開催、さらにはニュースポーツの普及を中心とした市スポーツ推進委員会の各種事業の実施など、今後とも生涯スポーツの裾野の拡がりへの支援の継続は、地域における生涯スポーツの普及という視点からも大切なことと思われま

3 スポーツ施設の整備充実

平成 30 年度の主な取組

◇能美市岩内体育館アリーナ等改修工事

- ・アリーナ床改修 A=1,240 m²
- ・バスケットゴール新設 N=2 対
- ・男女トイレバリアフリー化 N=一式
- ・防火シャッター改修 N=1 箇所
- ・給水管新設 L=44m 他

◇根上勤労者体育センター外壁等改修工事

- ・防水改修工事 A=359.7 m²
- ・屋根改修工事 L=67.2m
- ・外壁改修工事 N=一式
- ・照明器具改修工事 N=4箇所 他

◇根上東部地区市民体育館改修工事

- ・屋根改修 A=415.4 m²
- ・外壁塗装 A=422.0 m² 他

◇粟生運動公園トイレ改修工事

- ・トイレ洋式化 N=3箇所
- ・給水管新設 L=31.2m 他

◇健康ロード競歩練習コース整備工事

- ・薄層カラー舗装 A=231㎡
- ・路面標示 N=6箇所

◇上記工事を含め 61 件の工事, 13 件の業務委託 (実施設計等), 15 件の備品購入を実施

◎改修工事費総額 154,941 千円

◎業務委託費総額 7,757 千円

◎備品購入費総額 1,485 千円

評価

岩内体育館は、平成24年度に耐震改修工事を施工し、外壁や屋根等の改修は済んでいますが、内部に関しては未実施であり、経年劣化により損傷が激しくなっていました。

アリーナは床については前回改修後20年以上が経過し、劣化が進んでいることや全国的に体育館の木製床板の剥離による負傷事故が発生していることを考慮し、今後のメンテナンスや床板の剥離による事故防止対策として、かば桜(木製)からクッションが高く、腰やひざへの負担の少ない体育館用スポーツフロアを敷設しました。

バスケットゴールは耐震性を有するものに交換し、地震の際の落下を防ぐとともに、新たに1面追加したことで、2面で利用できるようになりました。またゴール面を上下昇降式にしたことで、ジュニアにも対応できるようになり、ジュニア用のコートラインを新設したバレーボールとともにジュニア層の利用が可能となりました。

アリーナ中央には防球ネットを新設し、利用者の半面ずつ利用者の相互干渉を防ぐことで安全性を高めました。

男女トイレは入口部の段差を無くしバリアフリー化するとともに、近年の生活様式の変化に対応し、和便器を洋便器へ取替えた他、多目的トイレにはオストメイトやベビーシート、小児用の小便器を新設し、小さなお子様連れの方や高齢者の方を含め、どなたでも安心して利用できるようになります。

今回の改修工事により、従来より幅広い年代層が利用しやすい環境を整備することで、施設利用者の安全性、利便性が格段に向上しました。

根上勤労者体育センターの改修事業は外壁の経年劣化により、剥離・落下の危険性があるため実施しました。平成29年度には底下の水切りが落下しており、小中学校の通学路に面していることや、市の指定避難施設に指定されていることから、外壁の改修及び屋上防水の改修を行うことで、利用者の安全性の向上を図りました。

根上勤労者体育センターは平成27年度に内部を改修しており、今回外部の改修工事を終え、同じく内外部の改修を終えた岩内体育館とともに、施設の長寿命化を図るとともに、施設の利用や指定避難施設としての機能が向上されました。

今回の大規模改修実施施設を含めた市内体育施設は建設後20～40年以上経過した施設であり、経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設の改修計画を策定することで、施設の延命化を図ります。また、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し、幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思えます。

○意見

公の施設である岩内体育館の床面改修、バスケゴール新設、トイレのバリアフリー化、根上勤労者体育センターの屋根、外壁等の改修、根上東部体育館の屋根、外壁補修、栗生運動公園トイレ洋式化、健康ロード競歩コースのカラー舗装などなどスポーツ施設の経年劣化への対応や長寿命化に向けた取組をなされたことと存じます。

施設の改修、利便性の向上などは、未来のアスリートの発掘や育成と関わったりする場合がないとも限りません。今後ともスポーツに親しむことのできる施設設備の整備、備品の近代化にご配慮されますことを期待します。併せて、スポーツ振興を図る上で、指導者の存在や各種スポーツ大会への出場支援は不可欠です。今後ともその拡充を期待いたします。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1. 教育委員会会議

12回開催 (開催日及び審議決定事項 下表のとおり)

{ 議事 25件 }

平成30年度教育委員会会議開催状況

回(開催日)	審議決定事項
平成30年第4回 (H30. 4. 9)	<p>議案第8号 能美市学校運営協議会委員の選任について</p> <p>議案第9号 能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任について</p> <p>議案第10号 能美市コミュニティ・スクール推進協議会委員の選任について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局各課事務分担 ・平成30年度石川県教育委員会連合会定期総会 ・平成30年度市内小中学校管理職・主任等について ・平成30年度小中学校学年別人数・学級数 ・能美市ふれあいあいさつデーについて
平成30年第5回 (H30. 5. 21)	<p>議案第11号 平成30年度能美・川北地区教科用図書採択協議会規約について</p> <p>議案第12号 能美市社会教育委員の選任について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告 ・平成30年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告(4月状況) ・食物アレルギー児童生徒数 ・計画訪問について ・市内小中学校の運動会について ・教職員の多忙化改善に向けた取組について ・平成29年度能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告 ・平成30年度能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告(4月状況) ・第61回全国銃剣道能美大会について
平成30年第6回 (H30. 6. 27)	<p>議案第13号 平成29年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p>

	<p>議案第 14 号 平成 30 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の 要求について</p> <p>議案第 15 号 能美市文化財の指定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県教育委員会へ要望書の提出について ・ 市内小中学校ブロック塀設置状況と安全点検結果について ・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（5 月状況） ・ 小中学校教職員時間外勤務状況報告（5 月状況） ・ 学校教育懇談会について
<p>平成 30 年第 7 回 (H30. 7. 25)</p>	<p>議案第 16 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定に ついて</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県市町教育委員会セミナーの開催について ・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（6 月状況） ・ 小中学校教職員時間外勤務状況（6 月状況） ・ 小中学校運動会（9 月開催）の臨席について ・ 加賀地区中学生意見発表大会について ・ ふれあいあいさつデー強化週間について ・ 第 31 回 JAPAN TENTについて ・ 国際交流広場について ・ 高校総体等出場選手報告
<p>平成 30 年第 8 回 (H30. 8. 23)</p>	<p>報告第 3 号 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定 及び和解について）</p> <p>報告第 4 号 専決処分の報告について（能美市子どもの広場 遊具等整備事業補助金交付要綱の一部改正につ いて）</p> <p>議案第 17 号 平成 30 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の 要求について</p> <p>議案第 18 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認 定について</p> <p>議案第 19 号 平成 31 年度, 平成 32 年度使用中学校教科用図書 （道徳）の採択について</p> <p>議案第 20 号 平成 31 年度使用小学校教科用図書（道徳を除く）</p>

	<p style="text-align: center;">の採択について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（7月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（7月状況） ・小中学校運動会（9月開催）の臨席について ・秋常山古墳まつり 2018 について ・第 70 回石川県民体育大会の結果について
<p>平成 30 年第 9 回 (H30. 9. 27)</p>	<p>報告第 5 号 新博物館建設工事請負契約の締結について 議案第 21 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研究大会への参加依頼について 加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（川北町） 石川各市町教育委員会連合会研究大会（穴水町） ・能美市教育委員会の点検及び評価報告書について ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（8月状況） ・平成 31, 32 年度使用の中学校教科用図書（特別の教科道徳）および平成 31 年度使用の小学校教科用図書の採択結果について ・平成 30 年度全国学力学習状況調査の結果について ・スポーツフェスティバル in てらい について ・スポーツフェスティバル in たつのくち について ・能美市ファミリーコンサートについて ・委員の退任について (社会教育委員, 文化財保護審議会委員, 学校運営協議会委員) ・第 73 回国民体育大会出場選手について
<p>平成 30 年第 10 回 (H30. 10. 26)</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（9月状況） ・子どもマイスターウィークについて ・アットホームタウンフェスティバルについて ・新博物館建設工事起工式について
<p>平成 30 年第 11 回 (H30. 11. 21)</p>	<p>議案第 22 号 平成 30 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について 議案第 23 号 平成 30 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p>

	<p>定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（10月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（10月状況） ・歳末助け合い入札展について
<p>平成30年第12回 (H30. 12. 21)</p>	<p>議案第24号 能美市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第25号 平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（11月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（11月状況） ・平成31年度皇位継承に係る祝日等の対応について ・平成31年成人式について ・第55回歳末助け合い入札展結果報告について ・文芸能美の配布について ・全国大会出場選手報告
<p>平成31年第1回 (H31. 1. 23)</p>	<p>議案第1号 平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（12月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（12月状況） ・小中学校の卒業式・入学式について ・平成31年 能美市成人式について ・まなびフェスタ2019 ・第43回全日本競歩能美大会前夜祭「講演会&トークショー」 ・第43回全日本競歩能美大会応援ウォーキング
<p>平成31年第2回 (H31. 2. 25)</p>	<p>議案第2号 平成31年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第3号 平成30年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第4号 平成30年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒報告（1月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（1月状況） ・まなびフェスタ 2019 の報告 ・第 71 回石川県民体育大会冬季大会について ・平成 30 年度能美市体育協会表彰について ・第 43 回全日本競歩能美大会「エンジョイパーク」について
平成 31 年第 3 回 (H31. 3. 15)	<p>議案第 5 号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 6 号 能美市学校医の補充の選任について</p> <p>議案第 7 号 能美市根上青年の家管理運営規則を廃止する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（2月状況） ・小中学校教職員時間外勤務状況報告（2月状況） ・市内教職員離任式について ・平成 30 年度能美市立小中学校【学校評価】最終報告書 ・2019 年度能美市ふれあいあいさつデーについて ・いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 2019in 能美について

2 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
H30. 4. 2	事務局職員辞令伝達式
H30. 4. 6	市内小学校・中学校入学式
H30. 4. 9	第 4 回市教育委員会会議
H30. 4. 9	市内教職員着任式
H30. 4. 16	ふれあいあいさつデー
H30. 4. 26	第 1 回石川県市町教育長会議（金沢市）
H30. 4. 27	市体育協会定期総会
H30. 5. 2	いしかわ・金沢 風と緑の楽都 音楽祭 2018in 能美
H30. 5. 15	石川県市町教育委員会連合会教育委員代表者会（金沢市）
H30. 5. 15	石川県市町教育委員会連合会定期総会（金沢市）
H30. 5. 15	ふれあいあいさつデー
H30. 5. 20	スポーツフェスティバル in ねあがり
H30. 5. 21	第 5 回市教育委員会会議

H30. 5. 23	東京 2020 オリパラフラッグツアー フラッグ巡回展示
H30. 5. 26	和気小学校運動会
H30. 5. 29	寺井中学校計画訪問
H30. 6. 2	福岡小、粟生小、宮竹小学校運動会
H30. 6. 7	能美中学校相撲大会
H30. 6. 10	第 61 回全国銃剣道能美大会
H30. 6. 14	和気小学校計画訪問
H30. 6. 15	ふれあいあいさつデー
H30. 6. 16～18	加賀地区中学校総合体育大会
H30. 6. 22	辰口中学校計画訪問
H30. 6. 27	第 6 回市教育委員会会議
H30. 6. 29	寺井小学校計画訪問
H30. 7. 17	ふれあいあいさつデー
H30. 7. 18	高校総体等出場選手激励会
H30. 7. 20	市内小学校・中学校第 1 学期終業式
H30. 7. 23～27	寺井中学校韓国大徳中学校少年親善使節団派遣（寺井中学校姉妹校）
H30. 7. 25	第 7 回教育委員会会議
H30. 7. 25	第 70 回県民体育大会能美市選手団結団式
H30. 7. 25～31	能美市少年親善使節団シェレホフ市派遣
H30. 7. 26	学校教育懇談会（浜小、福岡小、寺井小、粟生小学校）
H30. 7. 28	南加賀地区中学生意見発表大会
H30. 8. 1	学校教育懇談会（根上中、寺井中、辰口中、和気小学校）
H30. 8. 3	石川縣市町教育委員会連合会教育セミナー（金沢市）
H30. 8. 5～8	根上中学校少年親善使節団韓国培材中学校受入（根上中学校姉妹校）
H30. 8. 7	学校教育懇談会（湯野小、辰口中央小、宮竹小学校）
H30. 8. 7	北信越中学校体育大会
H30. 8. 11, 12	県民体育大会夏季大会
H30. 8. 14	学校閉庁日（8/11 日～17 日はリフレッシュウィーク）
H30. 8. 17	全国中学校体育大会夏季大会
H30. 8. 23～26	第 31 回 J A P A N T E N T
H30. 8. 23	第 8 回市教育委員会会議
H30. 8. 25	国際交流ひろば（辰口まつりイベント会場）
H30. 8. 26	夏休み席書大会
H30. 8. 27	シェレホフ市少年親善使節団 歓迎夕食会（8/23～30 受入）
H30. 8. 29	第 2 回県教委連教育委員代表者会
H30. 8. 31	市内小学校・中学校第 2 学期始業式
H30. 8. 31～ 9. 6	ふれあいあいさつデー強化週間

H30. 9. 7	第70回石川県民体育大会能美市選手団解団式
H30. 9. 11	辰口中学校運動会
H30. 9. 12	寺井中、根上中学校運動会
H30. 9. 15	小学校運動会（寺井小、湯野小、辰口中央小学校）
H30. 9. 22	小学校運動会（浜小学校）
H30. 9. 23	秋常山古墳まつり
H30. 9. 27	第9回市教育委員会会議
H30. 9. 29	能美中学校新人大会
H30. 10. 2	根上中学校計画訪問
H30. 10. 7	スポーツフェスティバル in てらい（台風のため中止）
H30. 10. 7	スポーツフェスティバル in たつのくち（台風のため中止）
H30. 10. 12	粟生小学校計画訪問
H30. 10. 14	寺井地区一周駅伝競走大会
H30. 10. 14	寺井地区ソフトバレーボール大会
H30. 10. 15	市ふれあいあいさつデー
H30. 10. 17	能美市立博物館新築工事起工式
H30. 10. 17	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（穴水町）
H30. 10. 21	能美市ファミリーコンサート
H30. 10. 24	能美市総合文化祭（小学校ジュニア文化発表会）
H30. 10. 25	根上中学校文化祭
H30. 10. 26	能美市総合教育会議
H30. 10. 26	第10回市教育委員会会議
H30. 10. 29	宮竹小学校計画訪問
H30. 11. 3	能美市表彰式
H30. 11. 5	辰口中央小学校計画訪問
H30. 11. 6	ジュニア文化発表会（中学校）
H30. 11. 9～11	能美市総合文化祭（展示部門・一般展示）
H30. 11. 10	第14回市民文化・芸能大会
H30. 11. 11	能美市アンサンブルコンサート
H30. 11. 14	浜小学校計画訪問
H30. 11. 15	ふれあいあいさつデー
H30. 11. 17	第11回子どもマイスター賞表彰式
H30. 11. 21	第11回市教育委員会会議
H30. 11. 22	第3回教委連理事会（金沢市）
H30. 11. 27	「ふれあいトリオ吉田恭子と仲間たち」ふれあいコンサート
H30. 11. 28	湯野小学校計画訪問
H30. 12. 2	能美市ゆかりのスポーツ選手交流事業「能美市の星 京田陽太選手

	をさらに知りたい2018」
H30. 12. 7～	第55回歳末助け合い入札展
H30. 12. 17	ふれあいあいさつデー
H30. 12. 21	第12回教育委員会会議
H30. 12. 21	市内小学校・中学校第2学期終業式
H31. 1. 8	市内小学校・中学校第3学期始業式
H31. 1. 13	成人式
H31. 1. 15	ふれあいあいさつデー
H31. 1. 23	第1回市教育委員会会議
H31. 2. 3	能美市民スキー大会
H31. 2. 5	平成30年度石川縣市町新任教育委員研修会
H31. 2. 12	能美市総合教育会議
H31. 2. 15	ふれあいあいさつデー
H31. 2. 17	まなびフェスタ
H31. 2. 18	立志式
H31. 2. 25	第2回市教育委員会会議
H31. 3. 9	市内中学校卒業式
H31. 3. 15	ふれあいあいさつデー
H31. 3. 15	第3回市教育委員会会議
H31. 3. 15	市内小学校卒業式
H31. 3. 17	第43回全日本競歩能美大会
H31. 3. 17	全日本競歩能美大会応援ウオーキング
H31. 3. 22	3学期終業式
H31. 3. 28	能美市教職員離任式

評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育行政の基本理念である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向けて、教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ、更なる教育行政の推進に努めています。

○意見

平成30年度の能美市教育委員会の「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」を拝見し、改めて、限られた予算をどの事業に何のために配分し、どのような成果が得られる可能性があるか、という自己分析、また事業遂行上、改善や見直しの

方向についても真摯に向き合おうとする行政意思を感じ取りました。

自己点検・自己評価は、地域住民に対する説明責任を果たすことであるとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を児童生徒はもちろんのこと地域住民が享受できるような仕組みづくりに向けたものであることを切に願うものです。その意味におきまして、意見を述べる者としましては、評価欄の記載にあたり、評価対象年の事業だけではなく、次年度の取組みについても可能な範囲で、例えば、「こうしたことを踏まえ、令和元年度は、・・・の取組を重視したいと考えています」のような表記が記載されても良いのではないかと、思いました。

当然のことながら、行政には、「最少の経費で最大の効果」をもたらすようなメリハリのきいた事業展開が求められますが、如何せん教育事業には、効率だけでは判断し得ない面があることを首肯しなければなりません。

教育行政による利益の享受者は、児童・生徒、教員、地域住民でなければならず、それはとりもなおさず能美市、ひいては国家社会の利益になるものと認識します。

教育という営みは、当然のことながら長きにわたるものであり、すぐに成果を見出すことができにくいものではあります。教育施策のありようが、ひと育て、地域創生に大きくかかわっているということを再認識しながら、今後とも教育に関する事務の適切な管理及び執行に心がけられますよう念願し、まとめの言葉といたします。